

第4回 夢見るホッケー教室 in 東京 実施報告書



1. 事業名

夢見るホッケー教室 in 東京

2. 事業内容

(1) 参加者名

【参加者】

小学生3年生以下 8名
小学生4年生以上 8名
中学生以上 3名 合計19名

【講師】

小林 真由美 (JHA オリンピアンズ部会)

【運営スタッフ】

一般社団法人東京都ホッケー協会

河原茂光、菅野芳哉、平田麻佑子、市川明、多氣洋平

特定非営利活動法人メトロ東京ホッケー&アスリートクラブ

前田祐介、香山貴史、長谷川慧、矢ノ下徹、小比賀信吾、石井唯一、松田仁志、
松井晴香、小森彩花、寺重侑希

公益社団法人日本ホッケー協会

内藤副会長、瀧上常務理事、馬場理事、石川理事

(2) 会 場 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場 サウスピッチ (東京都)

(3) 期 日・スケジュール

【期 日】令和2年12月26日(土)

【スケジュール】

10:00 受付開始
10:30 開会式 挨拶
講師紹介
ウォーミングアップ
ホッケー競技説明
ホッケー体験(ベーシックスキルトレーニング・ミニゲーム)
11:50 オリンピアンへの質問コーナー
12:00 閉会式

(4) 目的

東京オリンピックイヤーの雰囲気を高めるため、全国の子どもたちにホッケーオリンピックを派遣しホッケーの楽しさを伝える。同時にホッケーカップを開催し、ホッケー技術の向上を図る。東京での開催においては、東京 2020 オリンピックのホッケー競技会場である大井ホッケー競技場でのホッケー体験を通じて、広く都民の健康増進を図ると共にスポーツ、ホッケーへの関心や理解を深め、積極的にスポーツに参加する機会を提供する。

(5) 成果

令和2年12月26日(土)、東京2020オリンピックの開催地である大井ホッケー場において、小学生以上の東京都民を対象にホッケー教室を開催、スキルアップのための練習及びゲーム大会を実施しました。

リズムトレーニングを取り入れたウォーミングアップ後、小林真由美さんからホッケーの反則や安全にホッケーをするために必要なルールについて解説があり、併せてメトロ東京ホッケー&アスリートクラブの選手による実演が行われました。

実際にホッケーのスキルを見て体感した後、3名1組のグループに分かれ、各グループにコーチが1名入り、パス、レシーブ練習を行いました。次に、グリッド内にコーチがDFで入り、一方のエンドラインから対角のエンドラインまでドリブルで突き進む、「通り抜けドリブル」を行いました。そして、通り抜けドリブルで得たスキルを活かし、ドリブルで敵を交わして実際のゴールへシュートする練習を行いました。初めはスティックの操作に苦戦していた方も、回数を重ねるうちにみるみると上達し、最後は敵が出したスティックに対して逆に抜くことが自然と出来るようになりました。またシュート練習の時は、時おり笑い声や歓声があがるなど、子どもも大人も楽しみながら取り組んでいました。

続いて行われたミニゲームでは、時よりチーム内で励まし合う声が聞こえるなど、参加者全員が一体となって臨んでいました。また、教わった技術を活かし、様々なスキルに挑戦する参加者も多く見られました。

最後に、小林真由美さんとメトロ選手で、デモンストレーションを行い、ホッケーのスピード感や繊細なスティック裁きを参加者の方々に体感してもらいました。

(6) 評価

『ホッケーの認知、理解促進』

導入部分であるホッケーの競技説明において、小林真由美さんの解説に併せてデモンストレーションを行ったことで、年代問わず分かりやすくホッケーの基礎知識を学ぶことができたのではと思います。また、デモンストレーションでは小林真由美さんやメトロ東京ホッケー&アスリートクラブ選手による日本トップクラスのス

スピードやテクニックが披露され、参加者からは大きな歓声があがり、ホッケーの奥深さや楽しさを肌で感じていただけたと同時に、より一層ホッケーの魅力を伝えることが出来たと感じました。今後も、ホッケー教室を通して、多くの方にホッケー競技の魅力を伝え、見て、実際に体験して楽しんでもらえるよう、より一層普及活動に尽力したいと思います。

『継続的にホッケーをしたい子どもの発掘』

今回は急激なコロナの感染拡大を受け、参加者の募集受付を途中で打ち切ることとなりましたが、少人数だからこそ参加した子どもたち一人ひとりに手厚い指導ができ、よりホッケーというスポーツを身近に感じていただくことが出来たのではないかと思います。また今回は2回以上参加されている子どもたちも多くみられ「継続的にホッケーをしたい子どもの発掘」という点で、回数を重ねるごとにその成果が表れていると感じました。特に、保護者の方からもホッケーに関して様々な質問も受けることが多くなり、子どもだけでなく、幅広い年齢層で関心を集めていることを強く感じています。引き続き多くの方々にホッケーに興味を持ってもらい、ビギナーの参加者にも継続してこの教室に参加していただけるような雰囲気づくりや、コーチ陣のスキルアップも図ってまいります。

最後に、コロナ対策については、子どもから保護者の方まで会場を出入りするすべての方に検温や手指消毒、貸出用のスティックやレガースの除菌を行うなど徹底したコロナ対策を実施することができました。

次回のホッケー教室は、2021年1月10日（日）に開催予定です。教室を通じて、多くの方にホッケーの魅力を感じてもらい、積極的にスポーツに参加する機会を提供していきたいと思っております。引き続きコロナ対策を徹底してまいります。